

日時：平成26年12月4日（木）10：00～10：30

場所：市役所第4会議室

出席者：市長、副市長、理事、企画部長、建設部長、長寿社会課長

取材者：めんこいテレビ、テレビ岩手、毎日新聞、河北新報、東海新報、岩手日報、読売新聞、NHK（順不同）

市長挨拶

お忙しい中をお集まりいただきありがとうございます。

また、日頃、陸前高田市の情報を全国に発信していただき感謝申し上げます。

12月議会が明日から開催されますので、主に議会の内容についてお話をさせていただきます。よろしくお願いいたします。

(1)平成26年12月定例議会について

市長)

はじめに、議案第1号は、陸前高田市と岩手県との間の平成23年東北地方太平洋沖地震及び津波により特に必要となった廃棄物の処理に関する事務の委託を廃止する協議に関し議決を求めることについてです。

これは、廃棄物の処理が終了したことから、岩手県への事務の委託を廃止しようとするものです。

議案第2号は、市道路線の認定についてです。

これは、防災集団移転促進事業により整備中の広田町内の大野団地、広田大野団地、泊第2団地と竹駒町内の下沢団地の住宅団地内道路、7路線を市道として新たに認定をしようとするものです。

議案第3号から議案第5号までの議案3件は、災害公営住宅譲渡契約の変更契約締結についてです。

これは、陸前高田市と独立行政法人都市再生機構との間で締結した、東日本大震災に係る陸前高田市復興事業の推進に関する基本協定に基づき、譲渡契約を締結し、整備中の気仙町内の水上地区災害公営住宅、広田町内の大野地区と田端地区災害公営住宅について、作業員確保に伴う宿泊費、建設資材及び人件費の増等により譲渡代金の変更が生じたことから、変更契約を締結しようとするものです。

議案第6号は、損害賠償の額を定め和解することについてです。

これは、市道湊漁港7号線において、市道中央部側溝のグレーチングの跳ね上がりにより民間自動車のオイルタンクが損傷した事故について、損害賠償の額を定め和解しようとする

ものであります。

議案第7号は、陸前高田市営住宅の指定管理者の指定についてであります。

これは、今後完成する災害公営住宅を含めて、市営住宅の指定管理者として株式会社寿広を指定しようとして提案するものであります。

議案第8号は、平成26年度陸前高田市一般会計補正予算（第6号）であります。

今回の補正の内容ですが、東日本大震災の復興関連事業、今年9月の大雨による災害復旧事業及び事業補助・人件費の補正等を計上しているところであり、歳入歳出予算の総額に、それぞれ2億4,386万8千円を追加し、総額を1,475億136万1千円とするものです。

主な事業であります。復興関連事業では、高田北地区西区の公園整備工事費等で約2億6千万円、大野地区、田端地区、今泉地区、長部地区の災害公営住宅設計費等で約5億3千万円、それから、昨年度に引き続き福祉灯油購入費等助成事業に約700万円などあります。

災害復旧事業では、今年9月の大雨による災害関連で、公共土木施設・道路橋梁等の災害復旧工事費として2億4千万円、それから復興関連の災害復旧になりますが、誂石橋測量調査設計費として5千万円、また、震災により市内5カ所（長部、両替、只出、後浜、根岬）の漁港に設置していた潮位・津波観測計も被災したところではありますが、県営広田漁港の後浜地区の防波堤工事完了に伴い設置するもので、潮位・津波観測システム設置工事費約1千200万円などあります。

事業補助では、大野及び広田大野地区防集住宅団地分のテレビ共同受信施設整備費補助として約1千万円などあります。（日本放送協会及び袖野テレビ共同受信施設組合助成）

次に議案第9号から議案第12号までは下水道事業特別会計から介護保険特別会計までの特別会計補正予算、議案第13号は水道事業会計の補正予算であります。説明は割愛させていただきます。

以上で議案の説明を終わります。

【質疑】

なし

(2) 12月～1月の行事予定について

期 日	行 事	会 場	備 考
12月6日(土)	災害公営住宅見学会 (西下団地)	現地	10:00～ 15:00
7日(日)	平成26年度復興「剣豪千葉周作」顕彰少年剣道錬成大会	市立第一中学校体育館	8:30～
13日(土) 14日(日)	災害公営住宅見学会 (水上団地)	現地	別紙資料の とおり
13日(土)	陸前高田サッカー教室(川崎フロンターレ)開会式	サンビレッジ高田	10:00～
14日(日)	「けせん匠の学校(仮称)」 キックオフシンポジウム	4号棟第6会議室	13:00～
15日(月)	年末年始地域安全運動出発式	市役所庁舎前	13:00～
26日(金)	ヤマト運輸(株)との協定締結式	4号棟第4会議室	11:00～
1月4日(日)	平成27年陸前高田市消防団 出初式	市立第一中学校体育館	午前
5日(月)	平成27年新年交賀会	キャピタルホテル1000	10:30～
11日(日)	平成27年陸前高田市成人式	市立第一中学校体育館	10:00～

【質疑】

質問)

災害公営住宅の見学会ですが、柳沢前団地の予定はいつ頃ですか。

建設部長)

年明けを予定しておりますが、まだ見学会ができるまでの工事が進んでおりませんので、もう少し時間がかかりそうです。

(3) 災害公営住宅見学会について

配付資料のとおり

(4) ヤマト運輸株式会社との協定締結について

市長)

お手元の資料をご覧くださいとわかりますが、たとえば、郵便物や新聞等がポストに溜まっていないかどうかをお仕事をしながら見回っていただき、異状がある場合には市や警察へ連絡をするということでございます。

【質疑】

質問)

災害公営住宅の見学会ですが、西下と水上は完成したということではよろしいでしょうか。
建設部長)

水上団地の完成検査はこれからですし、西下団地は県の工事ですが、現在も工事中でございます。見学会は2DK、3DKを一部屋ずつご覧くださいといった形になります。

質問)

今後、団地ごとに見学会は随時行うのでしょうか。

建設部長)

そうしたいと思っています。実際に見てみないと実感がわかないということで、申込みを躊躇している方も中にはおられるようです。

質問)

空室が出ている理由は何でしょうか。

市長)

ひとつは家賃が発生するという事ですし、議会からのご指摘なども含めて家賃の算出がなかなかできずに大きな金額を想定して躊躇されているということをお伺いしております。議会の皆様のご協力のもと、ご理解をいただくことが必要だと考えております。

もうひとつは、建設部長が申し上げたように、仮設住宅から災害公営住宅に移っていただくときのイメージができていないということです。まずは見ていただいて、それから家賃についてもご相談いただければ埋まっていくだろうと考えております。

質問)

今、陸前高田市で約1千戸の計画があるわけですが、この計画どおりに進めていかれるのか、それともどこかのタイミングでの見直しを考えていらっしゃるのでしょうか。

市長)

基本的には、既に着工しているものについてはそのままですが、気仙町今泉については今造成している段階ですからもう少し時間がかかります。今後精査していく中で若干の見直しは入ってくるだろうと思っております。

その他

質問)

避難マニュアルの説明会が終わりましたが、振り返ってみて市長としてどのように感じられましたか。また、今後の対応についてもお聞かせください。

市長)

天候の問題があったり、津波で大きく被災しているところしていないところと様々異なる状況の中で、人数のばらつきはかなりありましたが、全体とすれば貴重なご意見をたくさんいただけたと思っております。

皆さんからは「これはいざというときに使うもので、どこがポイントか」というご指摘もいただいたので、今後はそれらを踏まえながらも一度精査して、完成品に近いものができたらもう一度地域を回らせていただくという計画になっております。

いずれ地震、津波だけではなく、土砂災害あるいは洪水ということにも留意しなければいけませんので、皆さんの経験、反省、教訓といったことを踏まえながら作っていかねばならないと感じました。

質問)

衆院選挙のさ中ではありますが、投票までにどなたかの候補のマイクを握られるご予定はありますでしょうか。

市長)

地元から出ている方もおられますが、一方で野党であるということもあります。我々とすれば与党も野党も関係なくいろいろなお願いをしているところですから、あまりどこかに肩入れするのはいかなものかと自分自身思っています。ただこの間復興と一緒にやってきた人について気持ちとしては応援したいので、今のところ予定はありませんが、私も議会中ですので、もし要請があって時間が合えば、その可能性はあると思っています。

質問)

衆院選挙が終わると陸前高田市長選がありますが、政策の柱としてうったえていきたいことは何でしょうか。

市長)

まだ復興途上ですから、これをまず一日も早くやっていくことだと思います。一方でノーマライゼーションという言葉の知らないまちづくりを進めさせていただいているので、まだ市民の皆さまに浸透しているとは思いませんが、そこをしっかりと産業に結びつけていけるような展開をしていくことが大事だと考えています。その中でも障がいをお持ちの方、高齢の方、子育てをしている方、全ての方が入ってきますので、次の四年間で何が出来るとかということ具体的を示せばいいと思います。

質問)

政策、公約発表のタイミングですとか事務所開きというのは。

市長)

事務所を開くのは21日としていますが、その時点で公約を発表するかどうかについては決めておりません。大まかなことは言えると思いますが、具体的なことまでは私だけで決めることではありませんので。

質問)

先日のオンブズマンの件については、どのように対応されますか。

市長)

我々は、後ろ指を指されるようなことは当然ありませんし、今回の話は監査委員会に対しての監査請求ですので、我々が良いとか悪いとか判断するものではないと受け止めています。

議会の場でもメディアの皆さんご存知のとおり、お金の流れ等について公にしてきたわけですし、特に彼らの指摘に当たるところは一つもないと思っています。

質問)

今年最後の会見だと思いますが、市長就任から四年間を振り返っていただき自己評価と、今年一年をどのように感じたかをお聞かせください。

市長)

市長にさせていただいた時は東日本大震災が起こっていなかったわけです。当選をさせていただいて、さあこれからという時にまちが無くなってしまいました。

この四年間については私だけでなく市の職員に支えられながら一緒に、とにかく一日も早くとがむしゃらにやってきたと思います。

一方では、名古屋市さんと協定を結ばせていただき、他の自治体の方々との素晴らしい関係が生まれてきて、陸前高田市の利点や強みのようなものが培われてきたと思っていますので、今後はまたそういったものを大事にしながら様々な可能性を探っていけるのではないかと考えています。

今年一年については、本当にいろんなことが動き出した一年でした。あっという間に過ぎましたが、次から次と工事が発注され目に見えた形で復興出来た一年でした。

来年以降の足掛かりというものを様々な分野で作れたので、次は道路や整地の話だけではなく、たかたのゆめにせよ他市との交流にせよノーマライゼーションという言葉のいらぬまちづくりにせよ、来年は大きく展開ができるのではないかと考えております。